

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ

平成 21 年 4 月 21 日

大阪市立自然史博物館

学芸課学芸員

和田 岳(動物研究室・ホネホネたんけん隊展担当)

佐久間 大輔(植物研究室・きのこのヒミツ展担当)

電話 06-6697-6222

## 自然史博物館の夏・秋の特別展 「ホネホネたんけん隊」展と「きのこのヒミツ」展を開催します

大阪市立自然史博物館では、本年夏と秋に、特別展「ホネホネたんけん隊～ホネで学ぶ、ホネで楽しむ～」(会期:平成 21 年 7 月 4 日(土)～8 月 30 日(日))、特別展「きのこのヒミツ～きのこで世界はまわってる～」(会期:平成 21 年 9 月 19 日(土)～11 月 3 日(火・祝))を開催します。

いずれの特別展も、会場は花と緑と自然の情報センター2階ネイチャーホールです。会期中には関連イベントとして、講演会やセミナー、ワークショップ等を予定しています。

尚、ご取材については、随時受け付けておりますので、別添の取材申込書にてお申込ください。

### 【展覧会内容、開催概要】

1. 「ホネホネたんけん隊～ホネで学ぶ、ホネで楽しむ～」展
2. 「きのこのヒミツ～きのこで世界はまわってる～」展
3. 展示標本画像
4. 取材申込書

このプレスリリースの内容は、当館の下記ホームページでもご覧になることができます。

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

## 【展覧会内容】 「ホネホネたんけん隊～ホネで学ぶ、ホネで楽しむ～」展

本展では、ミンククジラ、ジュゴン、ダチョウ、アホウドリ、アカウミガメなど、大阪市立自然史博物館で所蔵する標本を中心に、多数のホネの標本を展示します。

単にホネの標本を並べるだけでなく、ホネを使って学んだり、ホネを楽しんだり、ホネを見る視点を提案します。同時にホネとかかわるさまざまな団体や専門家の紹介も行います。

ホネには一般的に不吉なイメージがありますが、その形に魅了される人も数多くいます。2005年秋から2006年夏にかけて、INAX ギャラリーで開催された「小さな骨の動物園」展は、大阪、名古屋、東京の3会場でたいへん好評を博しました。この展示会での骨格標本の約8割は、大阪市立自然史博物館の所蔵標本で、生物の構造に興味を持った美術関係者も多数来場し、この展示によって、骨はその形の面白さから、多くの人に訴える力を持つことが明らかになりました。

大阪市立自然史博物館では、2004年より「なにわホネホネ団」というサークル活動を続けています。動物の死骸を、皮と骨の標本にする活動団体です。こうした動物の標本作りに興味を持つ人は多く、子どもたちを含め、年々活動の輪は広がっています。

この特別展を通じて、より広い人々にホネの魅力を伝え、博物館を中心にしたホネの輪を広げていきたいと考えています。

## 【開催概要】

1. 名 称 特別展「ホネホネたんけん隊～ホネで学ぶ、ホネで楽しむ～」
2. 会 期 2009年7月4日(土)～8月30日(日) 50日間
3. 休 館 日 毎週月曜日(休日の場合翌日)
4. 開館時間 午前9時30分～午後5時(ただし入館は午後4時30分まで)
5. 会 場 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)  
所在地:大阪市東住吉区长居公園 1-23  
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車、東へ約800m  
JR阪和線「長居」駅下車、東へ約1km
6. 観 覧 料 大人500円 高校生・大学生300円。30名以上団体割引あり。  
※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料。本館(常設展)入館料(大人300円、高大生200円)とのセット料金は、大人700円、高大生400円。
7. 主 催 大阪市立自然史博物館、なにわホネホネ団、特定非営利活動法人 大阪自然史センター
8. 問 合 せ 大阪市立自然史博物館 TEL:06-6697-6221 <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
9. そ の 他 記者内覧会は、7月3日(金)に開催する予定です。

## 【展覧会内容】「きのこのヒミツ～きのこで世界はまわってる～」展

森にそっと生えるキノコ。キノコに代表される菌類は自然生態系の中で、あらゆる生物の死骸や排泄物の分解に関与し、次の生命へとつなぐ大切な役割を担っています。陸上の自然は菌類抜きには語れない、自然の中でのリサイクルの大切さは皆が知っていることですが、これを具体的なキノコの生きざままで印象づけてもらうことを目的とします。

展示は土の下で繰り広げられる、分解過程や、植物や動物との共生、シビアな寄生などさまざまな菌と他の生き物の関係を興味深いエピソードとともに紹介します。土壌動物学会の協力を得てきのこを食べ、時にきのこを利用するふしぎな「土壌動物の世界」もあわせて紹介します。

凍結乾燥(フリーズドライ)で作製した、まるで生のままのような色鮮やかでふしぎな形の標本や樹脂に封じ込めた標本、リアルに再現された模型、さらには生のキノコを用いて展示することで、実感を持ってキノコの世界を感じていただくことができますでしょう。

生き物に興味のある小学生からその親世代、シニアなど幅広い層に楽しんでいただける展示です。また菌類をよく知っている愛好家の協力で、キノコを楽しむ手ほどきをいたします。

ふしぎ、ちょっと怖いキノコ。キワモノ的印象をもたれがちなキノコ(=菌類)ですが、そこから興味を掘り下げて、土に親しみ、自然の仕組みを知り、キノコを安全に楽しんでもらえます。

## 【開催概要】

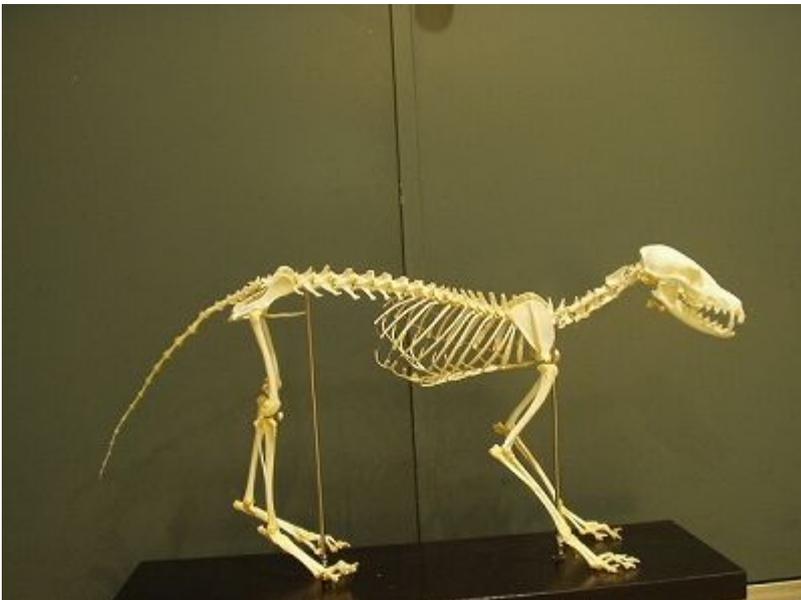
1. 名 称 特別展「きのこのヒミツ～きのこで世界はまわってる～」
2. 会 期 2009年9月19日(土)～11月3日(火・祝) 39日間
3. 休 館 日 毎週月曜日(休日の場合翌日)
4. 開館時間 9:30～17:00(入場は16:30まで)※11月1・3日は9:30～16:30(入場は16:00まで)
5. 会 場 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)  
所在地:大阪市東住吉区长居公園 1-23  
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車、東へ約 800m  
JR阪和線「長居」駅下車、東へ約1km
6. 観 覧 料 大人 500 円 高校生・大学生 300 円。30 名以上団体割引あり。  
※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料。本館(常設展)入館料(大人300円、高大生200円)とのセット料金は、大人700円、高大生400円。
7. 主 催 大阪市立自然史博物館、特定非営利活動法人 大阪自然史センター
8. 協 力 日本菌学会・日本土壌動物学会・関西菌類談話会・幼菌の会ほか(交渉中を含む)
9. 問 合 せ 大阪市立自然史博物館 TEL:06-6697-6221 <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
10. そ の 他 記者内覧会は、9月18日(金)に開催する予定です。

【展示標本画像】



アカウミガメの頭骨

アカウミガメの頭骨は大きく、  
恰好の良い形をしている。  
特別展では、このアカウミガメ  
の全身骨格を展示。



キツネの全身骨格

キツネはイヌ科なので、ホネで  
見るとイヌのように見える。



**イボテングタケ**

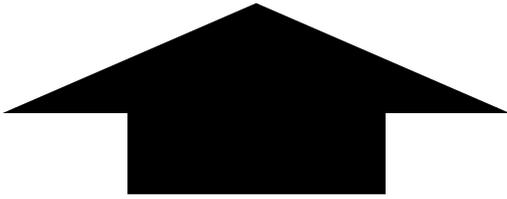
松林などに生える大型のテングタケ。2002年に京都の小田氏らによって新種記載された。有毒。



**トガリアミガサタケ**

大久保雅弘氏撮影

春、サクラやイチョウなどの周りに発生するキノコ。この仲間はヨーロッパを中心に食用にされることが多い。



## <FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

送信先：大阪市立自然史博物館

管理課広報 宛

TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

## 特別展 取材申込書

各特別展における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、事務局宛にFAXにてご返信ください。またお手数ですが、掲載媒体を2部（DVD、ビデオ、カセット、MDなどは1本）、お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



※ご取材にお越しの方は、博物館通用口からお入りください。駐車スペースもございます。

「ホネホネたんけん隊」展

「きのこのヒミツ」展

※ご取材の展覧会名にチェックを入れてください。

ご希望日時	月	日	時
貴社名／媒体名			
所属部署／ご担当者名			
人数（カメラ含む）			
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL.	FAX.	
	e-mail.		